

はじめに

平成7年の阪神・淡路大震災や平成23年の東日本大震災などの地震災害、また、近年全国各地で頻発する集中豪雨による河川堤防の決壊や内水はん濫など、大規模な自然災害が多発しております。

万一災害が発生した場合、市や防災関係機関での災害対応には限界があり、市民の皆様一人ひとりが日頃から災害に備えることが必要であり、また、被害を最小限におさえるためにも、地域での防災活動が重要となります。

この久喜市防災ハザードマップは、被災時の心得、避難場所等の確認、防災情報の入手先、そして、地震・洪水・内水の災害予測など災害時に役立つ情報をまとめました。

日頃から、ご家庭、職場、地域などで災害時の事前の備えとしてご活用ください。
今後も災害に強いまちづくりの推進に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



平成27年3月 久喜市長 田中暄二

目次

◆はじめに.....1	◆洪水ハザードマップとは.....31
◆家族会議を開きましょう・非常用持ち出し品(基本的な品目).....2	◆洪水関連情報.....32
◆久喜市の避難所・避難場所.....3	◆避難情報について.....32
◆避難時の心得.....5	◆洪水・内水ハザードマップ.....
◆応急手当て・AED.....6	●エリア1 利根川.....33
◆地震ハザードマップとは.....7	●エリア2 利根川.....35
◆地震のメカニズム.....8	●エリア3 利根川.....37
◆震度と被害想定.....9	●エリア4 利根川.....39
◆地震がおきたらその時どうする.....10	●エリア1 荒川.....41
◆地震に備える.....11	●エリア2 荒川.....43
◆地震ハザードマップ.....	●エリア3 荒川.....45
●エリア1 揺れやすさ.....13	●エリア4 荒川.....47
●エリア1 建物倒壊危険度.....15	●江戸川.....49
●エリア2 揺れやすさ.....17	●小山川・福川・女堀川.....51
●エリア2 建物倒壊危険度.....19	●内水ハザードマップ.....53
●エリア3 揺れやすさ.....21	◆浸水のおそれがある時.....55
●エリア3 建物倒壊危険度.....23	◆気象情報について.....56
●エリア4 揺れやすさ.....25	◆風水害に備える.....57
●エリア4 建物倒壊危険度.....27	◆地域での防災対策.....59
●液状化可能性マップ.....29	◆災害時の連絡方法.....60
	◆(参考資料)久喜市土地条件図.....61

防災行政無線情報メール配信サービス

久喜市では防災行政無線情報のメール配信を行っています。ぜひご利用ください。

登録はここから → kuki.bousai@mpme.jp

(登録料・情報提供料は無料ですが、メール受信の通信料は利用者負担となります。)



表紙写真提供 毎日新聞社

家族会議を開きましょう

家族の連絡方法を
確認しておきましょう。

家族の役割を決めて
おきましょう。



最終的に落ち合える
避難場所を決めましょう。

消火について
確認しましょう。

非常用持ち出し品(基本的な品目)

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。非常用持ち出し品は必要最低限なものにして、リュックサックなどにまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。



- 家族の役割分担も考えて、一人一つの非常用持ち出し袋を用意しましょう。
- 非常用持ち出し品はお年寄りや乳幼児などの家族構成に合わせて、必要なものを加えておきましょう。
- 非常用持ち出し品は保存状態や使用(賞味)期限などを定期的に点検し、必要に応じて交換しましょう。

貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 印鑑
- 預(貯)金通帳
- 保険証
- 免許証などの身分証明書



ラジオ・携帯電話

- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 携帯電話
(バッテリー充電器)



照明器具

- 懐中電灯
- 予備電池
- ろうそく
- ライター



各種道具

- 缶切り
- ガムテープ
- 栓抜き
- ポリ袋
- ナイフ
- 割り箸
- 筆記用具(太マジックも)
- ロープ(体重をささえられるもの。10mくらい)



救急・衛生用品

- 各種医薬品(常備薬も)
- ティッシュペーパー
- 石けん
- 生理用品
- とげぬき
- マスク
- ウェットティッシュ
- 簡易トイレ



非常食品

- 缶詰
- 乾パン
- ビスケット
- チョコレート
- 飲料水



- 最低限、3日分の食糧、3日分の飲料水(1人1日3リットル)の備蓄をしましょう。
- 水・調理なしでそのまま食べられるものを用意も必要です。

衣類関係

- 下着類
- セーター
- ジャンパー
- タオル
- 雨ガッパ
- 軍手
- ブランケット



以上の物などを基本に、家族構成により追加(赤ちゃんがいる場合は、粉ミルクや哺乳瓶、紙おむつなど)し、一つにまとめすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。
また、持ち出し品は、10~15キログラムを目安とし、定期的に点検をしておきましょう。

